

ヒヌマイトンボ

Mortonagrion hirosei

兵庫県：A

環境省：絶滅危惧ⅠB類(EN)

種の概要

腹長23～25mm、後翅長13～16mm程度。♂は黄緑色に黒斑があり、眼後紋が4個、翅胸前面に4個の黄緑斑がある。♀は頭部に茶釜型の黒斑があり、若い個体は胸部が橙色で成熟すると茶褐色からウグイス色になる。河口や海岸沿いのヨシが繁茂した汽水域に生息する。成虫は5月～9月に見られる。



写真提供：青木典司

国内分布

本州、九州

県内分布記録

豊岡市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○	○	○	○	○

特記事項

安定した生息地は円山川河口付近の1カ所のみで、最近はそこでも個体数の減少が見られる。生息場所は地域や行政に認識されており、個体群への人為的インパクトは少ないと思われる。しかし季節変動による水位低下によって幼虫生息場所のヨシ帯が水面上にでてしまうことがあり、常に絶滅と隣り合わせの状況である。全国的に見て日本海側の生息地は少なく、兵庫県の生息地は重要である。

保護上の留意点

ヨシ帯の保護と水位がヨシ帯の根際に達するような管理を行うこと。